

都市システム計画のための選択の科学

都市システムの将来像の計画や効果・実現可能性の評価には「**私たちの選択行動**」の理解が欠かせません。
このテーマでは、**選択行動のモデル化**や**データを用いた推定方法**について、手を動かしながら学びます。

時間：初回は10月7日 火曜 5講時（2回目以降は応相談）

場所：人間・環境系教育研究棟2F 土木第二講義室（204）

担当：福本 潤也（情報科学研究科 人間・社会情報科学専攻 准教授）

手順：

1. グループごとに選択に関する身近なテーマを1つ取り上げます。
2. 選択行動の推定に必要なデータをWEBアンケートにより収集します。
3. データを分析して、モデルの推定や施策効果の予測を行います。

補足：

- ・ 教員から簡単なレクチャーを行い、学生によるアイデアと教員からのフィードバックを基本として進めていきます。
- ・ 時間の調整がつけば、中間/最終プレゼンテーションは、別の授業科目で同様の課題に取り組んでいる学部3年生と一緒にを行います。

アピールポイント：

- ・ 身近な話題を通じて、選択行動について学ぶことができます。
- ・ 選択行動のモデル化からデータ収集、統計分析のプロセスを一貫して体験します。



$$\Pr\{\text{mode } i\} = \frac{\exp(V_i)}{\sum \exp(V_k)}$$